

生涯学習に関する市民意識調査

報告書概要版

平成 28 年 7 月

堺市

目次

第1章 調査の概要

1-1. 調査の目的	3
1-2. 調査の方法	3
1-3. 調査の内容	3
1-4. 配布・回収結果	4
1-5. 調査結果の見方	4

第2章 調査結果のまとめ

2-1. 調査結果の要点（単純集計結果を中心に）

(1) 属性	7
(2) 生涯学習への関わりについて	7
(3) 今後行ってみたい生涯学習活動について	8
(4) 市の生涯学習施策について	9

2-2. 区分別調査結果のまとめ

(1) 属性	10
(2) 生涯学習への関わりについて	10
(3) 今後行ってみたい生涯学習活動について	11
(4) 市の生涯学習施策について	11

2-3. 項目別自由意見のまとめ

2-4. 高齢者（65歳以上）の項目別自由意見のまとめ

(資料) アンケート調査票	19
---------------	----

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1-1. 調査の目的

堺市民の生涯学習活動に関する実態及びニーズを調査し、「堺市生涯学習支援計画」（平成28年度～平成32年度）期間中の生涯学習推進の進捗状況や市民意識の経年変化を掌握し、本市生涯学習施策をより効果的に進めるため、本調査を行うものである。

1-2. 調査の方法

調査の方法は、以下の通りである。

■調査の方法

調査範囲	堺市内全域
調査対象	満20歳以上の男女市民
標本規模	3,000人
抽出方法	区別の人口比により無作為で抽出
調査方法	郵送による無記名アンケート方式
調査期間	平成28年6月上旬～中旬

1-3. 調査の内容

アンケート調査の内容は、以下の通りである。

1. 属性

- F 1. 性別
- F 2. 年齢
- F 3. 居住場所
- F 4. 職業
- F 5. 居住年数
- F 6. 家族構成
- F 6 付問. 未就学児の有無

2. 生涯学習への関わりについて

- 問 1. 生涯学習のイメージ
- 問 2. 生涯学習活動実施の有無
- 問 3. 生涯学習活動の内容
- 問 4. 生涯学習活動を行っている方法
- 問 4 付問. グループ等の活動内容
- 問 5. 生涯学習を行っている場所
- 問 5 付問. 生涯学習を行っている公共の屋内外施設の種類の種類
- 問 6. 生涯学習施設の場所
- 問 7. 生涯学習活動を行っている目的
- 問 8. 生涯学習成果を活かしている場面
- 問 9. 生涯学習活動上で手に入れたい情報
- 問 10. 生涯学習活動を行っていない理由

3. 今後行ってみたい生涯学習活動について

- 問 11. 今後行ってみたい生涯学習活動
- 問 12. 今後行ってみたい生涯学習活動の方法
- 問 13. 今後行ってみたい生涯学習活動の時間帯
- 問 14. 今後行ってみたい生涯学習活動の場所
- 問 15. 各種情報の入手先

4. 市の生涯学習施策について

- 問 16. 市の生涯学習施策への満足度
- 問 17. ライフステージに対応した市の施策への満足度
- 問 18. 人びとの交流を広げるための市の施策への満足度
- 問 19. 諸課題に対する生涯学習の必要性
- 問 20. 次世代に繋がる社会やまちを創るために必要な学び方
- 問 21. 生涯学習施策に関する自由意見

1-4. 配布・回収結果

調査票の配布・回収結果を示したものが次表である。

■配布・回収結果一覧

ア 配布数	3,000票
イ 回収数	1,260票
ウ 有効回収数	1,256票
エ 回収率 (ウ/ア)	41.9%

※有効回答数：1,256票（回収数1,260票のうち、4票は全て無回答の白紙であるため、有効回答数から除外した）。

1-5 調査結果の見方

- ・比率は全て百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。
このため、合計が100.0%とならない回答もある。
- ・「複数回答」とは、1人が2つ以上の回答をしてもよい設問をいう。
- ・表中「n数」とは、回答数の合計をいう。
- ・年齢別集計において「65歳以上」の区分は、特に高齢者について把握するために別途集計したものである。
- ・報告書の中（第2章）で、「SA」とは単数回答（Single Answer）、「MA」とは複数回答（Multiple Answer）のことをいう。

第2章 調査結果のまとめ

第2章 調査結果のまとめ

2-1. 調査結果の要点（単純集計結果を中心に）

本節では、アンケート調査結果の単純集計について、各設問毎に上位3位までのものを抽出してまとめた。また、性別、年齢別、居住場所別のクロス分析のうち特色あるものについても抽出した。

(1) 属性

F1. 性別 (SA)

1. 「女性」……………58.5%
2. 「男性」……………38.5%

F2. 年齢 (SA)

1. 「60歳代」……………21.7%
2. 「40歳代」……………18.2%
3. 「70歳代」……………17.7%

F3. 居住場所 (SA)

1. 「北区」……………18.8%
2. 「南区」……………18.4%
3. 「堺区」……………15.2%

F4. 職業 (SA)

1. 「勤め人(フルタイム)」……………27.9%
2. 「無職」……………21.3%
3. 「家事専業(主婦・主夫)」……………20.2%

F5. 居住年数 (SA)

1. 「20年以上」……………46.9%
2. 「10年以上20年未満」……………21.8%
3. 「1年以上5年未満」……………12.9%

F6. 家族構成 (SA)

1. 「二世帯世帯(親と子など)」……………49.0%
2. 「夫婦のみ」……………27.2%
3. 「単身(一人暮らし)」……………10.0%

F6付問. 未就学児の有無 (SA)

1. 「いない」……………78.9%
2. 「いる」……………19.0%

(2) 生涯学習への関わりについて

問1. 生涯学習のイメージ (MA)

1. 「生涯にわたって行う学習活動」……………51.0%
2. 「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする事」……………49.8%
3. 「趣味・教養を高めること」……………37.7%

問2. 生涯学習活動実施の有無 (SA)

1. 「行っていない」……………63.8%
 2. 「行っている」……………35.6%
- ・年齢別で、『30歳代』から『70歳代』にかけては、年代が上がるに従って「行っていない」の割合が低くなるという特色がある。

問3. 生涯学習活動の内容 (MA)

1. 「文化・芸術・教養・趣味に関する事」……………48.5%
2. 「スポーツ・レクリエーション・健康づくりに関する事」……………45.0%
3. 「地域活動・ボランティア・NPO活動に関する事」……………23.0%

問4. 生涯学習活動を行っている方法 (MA)

1. 「グループ・サークル・団体などの仲間」……………37.6%
 2. 「本・雑誌・新聞」……………34.0%
 3. 「民間のカルチャースクール・スポーツクラブなど」……………32.7%
- ・年齢別で、他と比べて『20歳代』『30歳代』では「インターネット・携帯電話」が4割を超えているという特色がある。

問4付問. グループ等の活動内容 (MA)

1. 「スポーツ・レクリエーション・野外活動」……………44.0%
2. 「地域づくり・ボランティア活動」……………43.5%
3. 「文化・芸術活動」……………18.5%

問5. 生涯学習を行っている場所 (MA)

1. 「公共の屋内外施設」……………52.6%
 2. 「自宅」……………33.1%
 3. 「民間の屋内外施設」……………32.4%
- ・年齢別で、『20歳代』では「自宅」が64.3%と最も高く、年代が上がるに従ってその割合が低くなるという特色がある。

(3) 今後行ってみたい生涯学習活動について

問5付問. 生涯学習を行っている公共の屋内外施設の種類の種類 (MA)

1. 「地域会館」……………33.2%
2. 「体育・スポーツ施設」……………28.9%
3. 「福祉会館、保健福祉センター、老人福祉センター」……………20.4%

問6. 生涯学習施設の場所 (MA)

1. 「区内」……………57.7%
 2. 「堺市内」……………46.5%
 3. 「堺市以外の大府内」……………20.4%
- ・居住場所別で、他と比べて『美原区』の「区内」が75.0%と7割を超えているという特色がある。

問7. 生涯学習活動を行っている目的 (MA)

1. 「健康の維持・増進のため」……………45.0%
 2. 「自己充実や生きがいづくりのため」……………43.6%
 3. 「余暇を楽しむため」……………32.9%
- ・年齢別で、『20歳代』から『70歳代』にかけて年代が上がるに従って「健康の維持・増加のため」の割合が高くなるという特色がある。

問8. 生涯学習成果を活かしている場面 (MA)

1. 「健康づくりに活かしている」……………43.0%
2. 「生活の潤いや生きがいづくりに活かしている」……………37.8%
3. 「仲間づくりや友達づくりに活かしている」……………37.6%

問9. 生涯学習活動上で手に入れたい情報 (MA)

1. 「講座や催し物についての情報」……………42.3%
2. 「特になし」……………27.7%
3. 「施設の内容や利用方法についての情報」……………25.5%

問10. 生涯学習活動を行っていない理由 (MA)

1. 「時間に余裕がない」……………48.8%
 2. 「金銭的な余裕がない」……………30.5%
 3. 「何をしてもいかわからない」……………28.5%
- ・年齢別で、『20歳代』から『60歳代』で「時間に余裕がない」が最も高いという特色がある。

問11. 今後行ってみたい生涯学習活動 (MA)

1. 「文化・芸術・教養・趣味に関すること」……………49.5%
 2. 「スポーツ・レクリエーション・健康づくりに関すること」……………41.8%
 3. 「仕事上の知識・技術・資格の取得に関すること」……………21.5%
- ・年齢別で、『30歳代』以上ではすべて「文化・芸術・教養・趣味に関すること」が最も高いという特色がある。

問12. 今後行ってみたい生涯学習活動の方法 (MA)

1. 「市や府の講座や講習会」……………35.0%
2. 「民間のカルチャースクール・スポーツクラブなど」……………29.3%
3. 「本・雑誌・新聞」……………24.8%

問13. 今後行ってみたい生涯学習活動の時間帯 (MA)

1. 「平日の午後」……………27.8%
2. 「平日の午前」……………27.1%
3. 「土曜日の午後」……………19.7%

問14. 今後行ってみたい生涯学習活動の場所 (SA)

1. 「区内のみ」……………38.2%
 2. 「堺市域内のみ」……………34.8%
 3. 「大府内」……………17.9%
- ・年齢別で、他と比べて『80歳以上』では「区内のみ」が52.9%と5割を超えているという特色がある。

問15. 各種情報の入手先 (MA)

1. 「広報さかい」……………53.1%
 2. 「新聞・雑誌・タウン情報誌」……………36.8%
 3. 「インターネット・SNS (twitter、facebook、LINE、instagram等)」……………33.8%
- ・年齢別で、『30歳代』以下では「インターネット・SNS (twitter、facebook、LINE、instagram等)」が最も高く、『40歳代』以上では「広報さかい」が最も高いという特色がある。

(4) 市の生涯学習施策について

問 16. 市の生涯学習施策への満足度 (SA)

- 1) 学習情報の提供・相談
 1. 「あまり満足していない」……46.7%
 2. 「満足」……19.0%
 3. 「全く満足していない」……15.5%
- 2) 学習支援ボランティアの養成・支援
 1. 「あまり満足していない」……48.9%
 2. 「全く満足していない」……15.8%
 3. 「満足」……14.9%
- 3) 大学・企業などと連携した学習機会の提供
 1. 「あまり満足していない」……45.8%
 2. 「全く満足していない」……20.7%
 3. 「満足」……12.2%
- 4) 学習活動ができる環境
 1. 「あまり満足していない」……47.1%
 2. 「満足」……17.6%
 3. 「全く満足していない」……15.8%
- 5) スポーツなどを通しての健康づくり
 1. 「あまり満足していない」……44.6%
 2. 「満足」……22.9%
 3. 「全く満足していない」……13.8%

問 17. ライフステージに対応した市の施策への満足度 (SA)

- 1) 親のまなびへの支援
 1. 「あまり満足していない」……47.1%
 2. 「満足」……17.6%
 3. 「全く満足していない」……11.6%
- 2) 子どもの成長を支えるまなびの支援
 1. 「あまり満足していない」……44.9%
 2. 「満足」……21.0%
 3. 「全く満足していない」……10.7%
- 3) 若者の育ちの支援
 1. 「あまり満足していない」……50.6%
 2. 「全く満足していない」……13.7%
 3. 「満足」……13.0%
- 4) 就労者や育児をおこなっている人の支援
 1. 「あまり満足していない」……49.4%
 2. 「満足」……14.3%
 3. 「全く満足していない」……13.9%
- 5) シニア世代の学習支援
 1. 「あまり満足していない」……47.3%
 2. 「満足」……20.8%
 3. 「全く満足していない」……13.6%

問 18. 人びとの交流を広げるための市の施策への満足度 (SA)

- 1) 今ある生涯学習施設の有効活用
 1. 「あまり満足していない」……47.0%
 2. 「満足」……19.3%
 3. 「全く満足していない」……13.2%

2) 新たな学習の場の創出

1. 「あまり満足していない」……50.2%
2. 「全く満足していない」……15.6%
3. 「満足」……12.5%

3) 電子情報 (ICT) を活用した学習の場

1. 「あまり満足していない」……48.8%
2. 「全く満足していない」……16.0%
3. 「満足」……12.3%

4) 地域における交流の場

1. 「あまり満足していない」……47.3%
2. 「満足」……18.8%
3. 「全く満足していない」……14.6%

5) 世代間の交流の場

1. 「あまり満足していない」……49.1%
2. 「全く満足していない」……17.2%
3. 「満足」……13.8%

問 19. 諸課題に対する生涯学習の必要性 (SA)

1) 平和と人権を尊重する意識の醸成

1. 「必要」……45.2%
2. 「大いに必要」……20.6%
3. 「あまり必要ない」……17.1%

2) 安全・安心な生活のありかた

1. 「必要」……49.0%
2. 「大いに必要」……28.7%
3. 「あまり必要ない」……9.2%

3) 堺の歴史文化や伝統産業

1. 「必要」……49.6%
2. 「あまり必要ない」……19.2%
3. 「大いに必要」……15.0%

4) 持続可能な環境への取り組み

1. 「必要」……52.4%
2. 「大いに必要」……19.4%
3. 「あまり必要ない」……11.9%

5) 各区の課題に応じた学習

1. 「必要」……46.6%
2. 「あまり必要ない」……24.5%
3. 「大いに必要」……10.3%

問 20. 次世代に繋がる社会やまちを創るために必要な学び方 (MA)

1. 「さまざまな体験を通して学ぶ参加体験型手法で学ぶ」……39.3%
2. 「現実的な課題に実践的に取り組みながら学ぶ」……28.0%
3. 「多様な立場や世代、または市域を超えた人たちと学ぶ」……24.7%

2-2. 区分別調査結果のまとめ

本節では、アンケート調査内容の4つの区分別にその要点をまとめた。

(1) 属性

1) 性別

「男性」が38.5%、「女性」が58.5%と約4：6の割合で、結果として女性の回答者が多くなった。

2) 年齢

今回20歳以上の男女を調査対象としたが、「20歳代」と「80歳以上」いずれも約7%、それ以外は約10～20%の割合であった。

一方、「65歳以上」を抜き出すと、37.4%と4割弱であった。

3) 居住場所

各区の人口規模の大小もあって、『美原区』の割合が5.4%となったが、他の区では約10～20%の割合で分布している。

4) 職業

「自由業」が約1割、「家事専業」「無職」がそれぞれ約2割、「勤め人（フルタイム）」が約3割、「勤め人（パートタイム）」が約2割という構成であった。

5) 居住年数

「20年以上」が5割弱、「10年以上20年未満」が約2割で、10年以上堺市に住んでいる人が約7割であった。

6) 家族構成

「二世世代家族（親と子など）」が5割弱、「夫婦のみ」が約3割、「単身」が1割という構成になっており、その中で未就学児のいる家庭は2割弱となっている。

(2) 生涯学習への関わりについて

生涯学習という言葉のイメージについては、『生涯にわたる学習』、『生活の楽しみ』、『心の豊かさ』、『趣味・教養』といったキーワードがイメージされている（問1）。

次に、生涯学習活動を行っていると感じた人は35.6%と4割弱にとどまっており（問2）、その内容は「文化・芸術・教養・趣味に関すること」と「スポーツ・レクリエーション・健康づくりに関すること」がいずれも5割弱と最も高く、文化系およびスポーツ系が上位となっている（問3）。

行っている内容を詳細にみると、学習方法としては「グループ・サークル・団体などの仲間」「本・雑誌・新聞」「民間のカルチャースクール・スポーツクラブなど」がいずれも35.0%前後となっており（問4）、その中で第1位の「グループ・サークル・団体などの仲間」の具体的活動内容としては、「スポーツ・レクリエーション・野外活動」や「地域づくり・ボランティア活動」といった主に複数人数である活動が上位を占めている（問4付問）。

次に行っている場所としては、「公共の屋内外施設」が最も高く、次いで「自宅」「民間の屋内外施設」の順となっており（問5）、「公共の屋内外施設」としては、「地域会館」「体育・スポーツ施設」「福祉会館、保健福祉センター、老人福祉センター」が上位3位を占めている（問5付問）。

また、生涯学習活動を行っている施設の所在地については、「自分の区内」「堺市内」「堺市以外の大阪府内」の順となっている（問6）。

一方、生涯学習活動の目的としては、「健康の維持・増進のため」「自己充実や生きがいづくりのため」「余暇を楽しむため」が上位を占め（問7）、活動成果の活かし方としては「健康づくりに活かしている」「生活の潤いや生きがいづくりに活かしている」「仲間づくりや友達づくりに活かしている」が上位となっている（問8）。

今後、活動を行う上で手に入れたい情報としては「講座や催し物についての情報」「施設の内容や利用方法についての情報」が上位を占めている（問9）。

問2に戻って、生涯学習活動を「行っていない」と答えた63.8%の人にその理由をきくと、「時間に余裕がない」「金銭的な余裕がない」「何をしてもいかわからない」が上位3位を占めている（問10）。

（3）今後行ってみたい生涯学習活動について

生涯学習活動を行っていない人も含めて今後行ってみたい生涯学習活動としては、「文化・芸術・教養・趣味に関すること」が最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション・健康づくりに関すること」「仕事上の知識・技術・資格の取得に関すること」となっており（問11）、活動の方法としては「市や府の講座や講習会」「民間のカルチャースクール・スポーツクラブなど」「本・雑誌・新聞」（問12）が、活動の時間帯としては「平日の午後」「平日の午前」「土曜日の午後」（問13）が上位を占めており、活動の場所としては「区内のみ」「堺市域内のみ」「大阪府内」（問14）の順となっている。

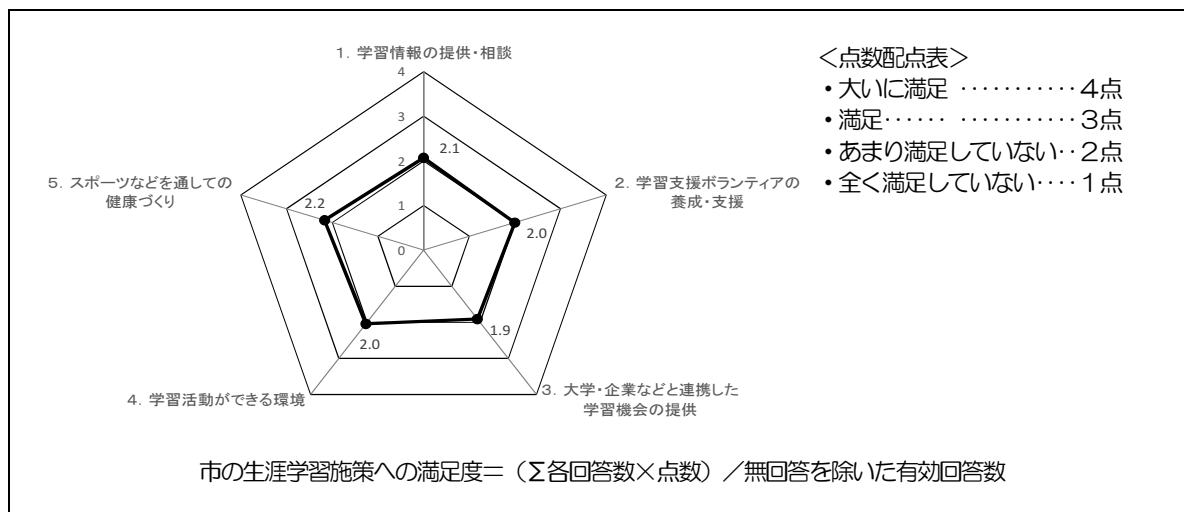
一方、普段の情報の入手先としては「広報さかい」が最も高く、次いで「新聞・雑誌・タウン情報誌」「インターネット・SNS（twitter、facebook、LINE、instagram等）」の順となっている。

（4）市の生涯学習施策について

1) 市の生涯学習施策への満足度

- ・市の生涯学習施策への満足度を尋ねた5つの設問（問16）について比較評価すると、『5. スポーツなどを通しての健康づくり』が2.2と“満足している”程度が最も高くなっている。一方、『3. 大学・企業などと提携した学習機会の提供』が1.9となっており、“満足している”程度が最も低くなっている。
- ・全体として、いずれの設問も満足度評価が2.0前後で、「あまり満足していない」が平均像となっている。

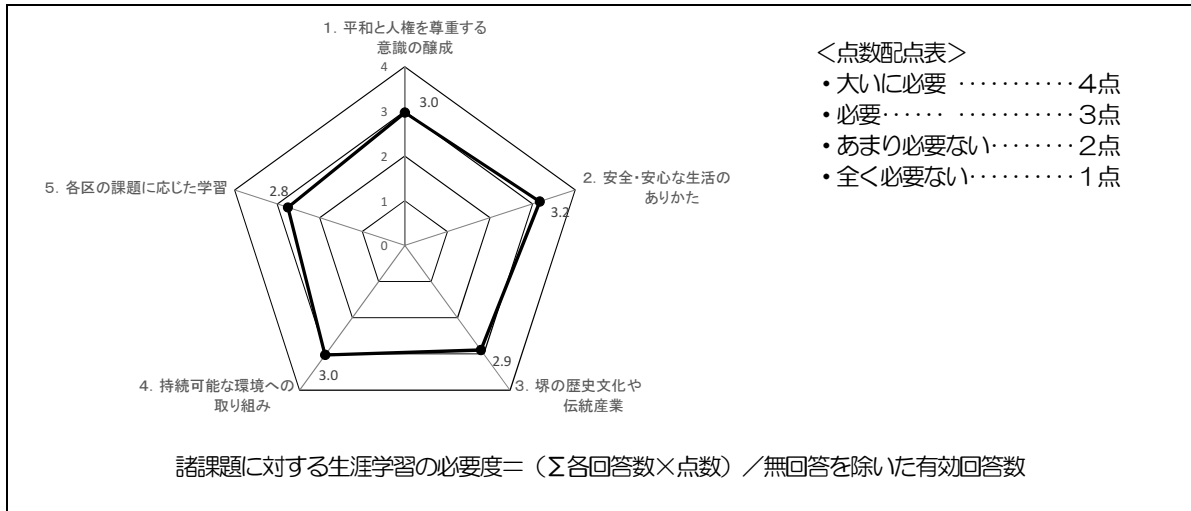
■市の生涯学習施策への満足度



4) 諸課題に対する生涯学習の必要性

- ・ 諸課題に対する生涯学習の必要性について尋ねた5つの設問（問 19）について比較評価すると、『2. 安全・安心な生活のありかた』が3.2と“必要である”程度が最も高くなっている。一方、『5. 各区の課題に応じた学習』が2.8となっており、“必要である”程度が最も低くなっている。
- ・ 全体として、いずれの設問も必要度評価が3.0前後で、「必要」が平均像となっている。

■ 諸課題に対する生涯学習の必要度



次に次世代に繋がる社会やまちを創るために必要な学び方（問 20）については、「さまざまな体験を通して学ぶ参加体験型手法で学ぶ」が最も高く、次いで「現実的な課題に実践的に取り組みながら学ぶ」「多様な立場や世代、または市域を超えた人たちと学ぶ」の順となっており、『参加体験型』『実践的取り組み』『多様・他地域』といったキーワードがあげられている。

2-3. 項目別自由意見のまとめ

本節では問21の自由意見について、その内容から大きく9つに項目分けを行い、項目別にその要点をまとめた。

(1) 生涯学習の認知について

生涯学習の認知については、23件の自由意見があった。

その中で代表的な意見としては、「生涯学習という言葉自体を知らない」(10件)が最も多かったが、「堺市が生涯学習施策をどれだけ実施しているのかわからない」(9件)という意見も多くあった。その他では、「生涯学習というものに馴染みがない」(2件)という意見がわずかにあった。

(2) 生涯学習への思い・取り組みについて

生涯学習への思い・取り組みについては、29件の自由意見があった。

その中で生涯学習への思いについては、「豊かな生活、人生を送るためには生涯学習は不可欠」(6件)という強い思いを述べられたものもあったが、「自己の生涯学習活動への参加意識が最も需要」(4件)というそもそも論的な意見が述べられていた。

次に、生涯学習への取り組みについては、「生活にゆとりや余裕がなければだめ」(5件)という精神的、時間的、金銭的な余裕の必要性を述べる意見があった。

(3) 生涯学習活動の内容・メニューについて

生涯学習活動の内容・メニューについては、35件の自由意見があった。

意見が多岐に分かれているため、まとめることはやや難しいが、「夜間や土日開講の講座を増やしてほしい」(4件)、「通信教育や資格取得支援制度があれば」(4件)、「大きな祭り、スポーツ大会、イベントなどの催しを開催してほしい」(3件)といった開講の日時に関わるものや提供メニューの内容に関わるものがあった。

(4) 生涯学習の場所・施設について

生涯学習の場所・施設については、32件の自由意見があった。

その中で代表的な意見としては、「図書館や文化施設の内容や個所数を充実してほしい」(7件)といった文化系施設に関するものと、「スポーツ出来る場所を充実してほしい」(4件)といった体育系施設に関するもの、一方、「アクセスする交通を充実してほしい」(3件)といった交通利便性に関する意見が中心であった。

(5) 生涯学習の情報提供について

生涯学習の情報提供については、36件の自由意見があった。

その中で大部分を占めた意見としては、「生涯学習について情報発信をもっとしてほしい」(18件)といった情報提供の量に関するもの、「生涯学習についての情報提供の方法や対応を工夫してほしい」(14件)といった情報提供の方法等に関するものが中心であった。

(6) 子どもや青少年の生涯学習について

子どもや青少年の生涯学習については、7件の自由意見があった。

意見数は多くはなかったが、生涯学習という自ら進んで行う学習の前に「道徳教育、マナー教育などの教育に力を入れるべき」(3件)といった子どもなどへの教育の重要性を述べる意見があった。

(7) 子育てと生涯学習について

子育てと生涯学習については、9件の自由意見があった。

その中で代表的な意見としては、「保育サポート、子どもを預ける場所がほしい」(3件)といった子育て中も自分が生涯学習活動ができるようにといったもの、「子どもと一緒に学べる生涯学習機会があれば」(3件)といった親子一緒にの生涯学習活動といったものがあった。

(8) 生涯学習の費用について

生涯学習の費用については、8件の自由意見があった。

意見の大部分は、「お金の負担は大変なので、低額又は無料で生涯学習活動ができれば」という意見であった。

(9) 市の生涯学習施策について

市の生涯学習施策については、23件の自由意見があった。

その中で代表的な意見としては、「市が取り組んでいる施策をもっと市民に開示してほしい」(9件)が最も多く、「生涯学習活動における高齢者の活用を」(3件)、「社会人入学や資格取得のしやすい施策の充実を」(3件)といった意見があった。

2-4. 高齢者（65歳以上）の項目別自由意見のまとめ

本節では問21の自由意見のうち、特に高齢者を抽出し、9つの項目別にその要点をまとめた。

（1）生涯学習の認知について

意見数は少ないが、概して「生涯学習」という言葉の意味が十分理解されているとは言えないことが読みとれる。

（2）生涯学習への思い・取り組みについて

長寿化社会の進行による高齢化とともに、体の動きの制約度が増す中で、近場での生涯学習活動への参加、年齢に見合った生涯学習活動（例：書道、老人会ボランティア）等を行っており、そのことに毎日の生活の充実、元気で学べる幸せを感じている人が多い。

（3）生涯学習活動の内容・メニューについて

「趣味等の教室を増やしてほしい」といった生涯学習メニューの増設、移動できない人への通信教育等の対応、身近な社会問題（例：老人対象への詐欺、マイナンバー制度）を取り上げた講習会の開催などへの要望があった。

（4）生涯学習の場所・施設について

図書館や体育館利用への移動距離の長さや移動手段の不便さ、文化施設や市民ギャラリー等の設置数の少なさへの不満がいくつかあった。また、文化会館の利用手続きの改善、自治会館のさらなる開放といった要望があった。

（5）生涯学習の情報提供について

「広報さかい」の生涯学習情報をもっと読みやすく、もっと多くの情報を掲載して充実させてほしいとの要望があった。特に高齢者はインターネットやホームページといったことに不慣れであったり、機器も持っていない人がいることに配慮した情報の提供を望む声があった。

（6）子どもや青少年の生涯学習について

子どもの時から挨拶をすることや交通ルール（自転車等）を身につけることが大事だが、そのためにはとりまなおさず、学校教育、道徳教育、人間的なマナー教育が重要であるとの意見があった。

（7）子育てと生涯学習について

（自由意見なし）

（8）生涯学習の費用について

生涯学習に費用がかかっても楽しいから活動しているという意見があるものの、全体として、もっと安い料金、さらには無料で学べる学習機会といった個人負担の軽減を求める声が多くあった。

（9）市の生涯学習施策について

区単位の小さな単位で生涯学習の課題を吸い上げて、行政の取り組みをお願いしたいという意見や高齢化が進む中で生涯学習活動の提供者側にもシニア層の参加機会の拡大施策を！という意見があった。

(資料) アンケート調査票

堺市 生涯学習市民意識調査

生涯学習に関するアンケート

～堺市からのアンケート調査です～

ご協力のお願いに先立ち、この度は、市民の皆様の個人情報や外部に流出させるといふ、あってはならない事態を招き、皆様に多大なるご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを、深くおわび申し上げます。

今回のアンケートは、無記名でお答えいただき、その結果は統計的に処理します。

ご回答の内容について、アンケートの目的以外に使用することはございません。

また、調査対象の市民の皆様の個人情報につきましては、厳重に管理をしております。

◆◆調査の目的とご協力のお願◆◆

堺市は、平成28年2月に「堺市生涯学習支援計画」を策定し、様々な施策に取り組んでおります。

「生涯学習」とは、生涯にわたって行うあらゆる学習、例えば、学校や社会の教育、文化・スポーツ・レクリエーション活動、ボランティア活動、趣味など様々な場や機会においておこなう学習活動のことです。

このアンケートは、市民の皆様の生涯学習に対するイメージや、現在の地域での活動の様子、またご要望をお伺いし、今後本市が皆様の生涯学習を支援していくための、基礎的な資料として活用することを目的におこなうものです。

十分な調査結果を得るため、できるだけ多くの皆様からの、ご回答をいただきたいと思います。

ご多忙のこととは存じますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年6月

堺市

■調査のあつかいについて■

- ◇ 市内にお住まいの 20歳以上の3,000人を無作為に選ばせていただき、調査票をお送りしています。
- ◇ アンケートは無記名でお答えいただきますので、どなたのお答えかはわからないようになっています。その結果は統計的に処理しますので、あなた自身にご迷惑をおかけすることはいっさいありません。
- ◇ この調査は、本アンケートの目的以外に使用することはありません。

■ご回答にあたって■

- ◇ このアンケートは、封筒のあて名ご本人がご回答ください（本人の記入が難しい場合は、家族の方が代筆されても構いません）。
- ◇ それぞれの設問の選択肢から、あてはまる番号に○印を記入してください。
- ◇ 「その他」の場合は、（ ）内に内容を具体的に記入してください。
- ◇ 8ページ、9ページの設問は、あてはまる表の番号に○印を記入してください。
- ◇ それぞれの設問の指示に従って、最後までご回答ください。
- ◇ ご回答いただきました調査票は、無記名のまま、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに 6月20日（月）までに お近くの郵便ポストに投函してください。

（注）視覚障害の方で点字版調査票が必要な場合は、下記の間い合わせ先までご連絡ください。

このアンケートの内容などについてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

堺市 市民人権局 市民生活部 生涯学習課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

電話 072-228-7631【直通】 FAX 072-228-0371

E-mail : shogaku@city.sakai.lg.jp

1. 生涯学習活動への関わりについてお聞きします。

問1. 「生涯学習」という言葉から、どのようなことを思い浮かべますか(○は3つまで)。

1. 生涯にわたって行う学習活動
2. 趣味・教養を高めること
3. 仕事上の知識・技能を身につけること
4. 生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする事
5. 高齢者の生きがいを充実すること
6. 市や府の講座や講習会に参加して学習すること
7. 民間のカルチャースクール・スポーツクラブなどで学習すること
8. 健康・体力づくりをする事
9. 仲間をつくり、相互に学び合い高め合うこと
10. 社会の変化に対応するために学ぶこと
11. 地域活動の中で実践的に取り組みながら学ぶこと
12. その他(具体的に: _____)
13. わからない

問2. 現在、生涯学習活動を行っていますか(○は1つ)。

1. 行っている



次ページの問3へお進みください。

2. 行っていない



6ページの問10にお進みください。

問2で「1. 行っている」を選ばれた方にお伺いします。

問3. 現在、行っている生涯学習活動はどれですか（〇はいくつでも）。

1. 地域活動・ボランティア・NPO活動に関する事
2. 文化・芸術・教養・趣味に関する事
3. スポーツ・レクリエーション・健康づくりに関する事
4. 仕事上の知識・技術・資格の取得に関する事
5. 社会的課題に関する事（高齢社会・環境・人権・まちづくりなど）
6. パソコン・インターネットなどに関する事
7. 子育て・教育に関する事
8. その他（具体的に： _____）

問4. その生涯学習活動をどのような方法で行っていますか（〇は3つまで）。

1. 本・雑誌・新聞
2. インターネット・携帯電話
3. テレビ・ラジオ
4. 通信教育・放送大学
5. 大学・専門学校の公開講座
6. 市や府の講座や講習会
7. 民間のカルチャースクール・スポーツクラブなど
8. グループ・サークル・団体などの仲間→以下の（付問）にお答え下さい。
9. その他（具体的に： _____）

問4で「8.グループ・サークル・団体などの仲間」を選ばれた方にお伺いします。

（問4付問）そのグループ等は、どのような活動をしていますか（〇はいくつでも）。

1. 地域づくり・ボランティア活動
2. 子育て支援・教育支援（学校支援）活動
3. 歴史・郷土史について学ぶ活動
4. 文化・芸術活動
5. スポーツ・レクリエーション・野外活動
6. 自然保護・環境美化活動
7. 技術や資格を身につける活動
8. その他（具体的に： _____）

引き続き、問2で「1. 行っている」を選ばれた方にお伺いします。

問5. その生涯学習活動を行っている場所はどこですか（〇はいくつでも）。

1. 自宅
2. 公共の屋内外施設 → 以下の(付問)にお答えください。
3. 民間の屋内外施設
4. 山、海、野原などの野外
5. その他(具体的に:)

問5で「2. 公共の屋内外施設」を選ばれた方にお伺いします。

(問5付問) それは、どのような公共施設ですか（〇はいくつでも）。

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1. 公民館 | 6. 図書館 |
| 2. 体育・スポーツ施設 | 7. 地域会館 |
| 3. 博物館、資料館 | 8. 大学・専門学校 |
| 4. 小学校・中学校・高校 | 9. 保育所、幼稚園、その他の子育て施設 |
| 5. 福祉会館、保健福祉センター、
老人福祉センター | 10. その他
(具体的に:) |

問6. 問5で選んだ施設はどこにありますか（〇はいくつでも）。

1. 区内
2. 堺市内
3. 堺市以外の大阪府内
4. 大阪府外
5. その他(具体的に:)

引き続き、問2で「1. 行っている」を選ばれた方にお伺いします。

問7. 現在、生涯学習活動を行っている目的は何ですか（〇は3つまで）。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 教養を高めるため | 6. 余暇を楽しむため |
| 2. 健康の維持・増進のため | 7. 社会の変化に対応するため |
| 3. 自己充実や生きがいづくりのため | 8. 誰かの役に立ちたいため |
| 4. 仕事に必要な知識や技術を身につけるため | 9. 地域や社会の課題を解決するため |
| 5. 仲間をつくり、相互に学び合い高め合うため | 10. その他
(具体的に:) |
| | 11. 特に目的はない |

引き続き、問2で「1. 行っている」を選ばれた方にお伺いします。

問8. 生涯学習活動で身につけた知識や技能や経験は、どのような場面で活かしていますか（〇はいくつでも）。

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 趣味の活動に活かしている | 7. ボランティア活動に活かしている |
| 2. 健康づくりに活かしている | 8. 地域での活動に活かしている |
| 3. 学業や学校生活で活かしている | 9. 仲間づくりや友達づくりに活かしている |
| 4. 仕事や就職で活かしている | 10. 生活の潤いや生きがいづくりに活かしている |
| 5. 資格の取得に活かしている | 11. その他 |
| 6. 学習やスポーツ、文化活動などの
指導に活かしている | (具体的に:) |
| | 12. 特に活かしていない |

引き続き、問2で「1. 行っている」を選ばれた方にお伺いします。

問9. 生涯学習活動を行う上で、手に入れたい情報はありますか（〇はいくつでも）。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 講座や催し物についての情報 | 6. グループ・サークルの活動内容についての情報 |
| 2. 指導者や講師についての情報 | 7. ボランティアの活動内容についての情報 |
| 3. リーダーについての情報 | 8. その他 |
| 4. 活動の相談窓口についての情報 | (具体的に:) |
| 5. 施設の内容や利用方法についての情報 | 9. 特にない |

この設問は、問2で「2. 行っていない」を選ばれた方にお伺いします。

問10. 現在、生涯学習活動を行っていないのはなぜですか（〇は3つまで）。

1. 時間に余裕がない
2. 金銭的な余裕がない
3. 身近に活動の場がない
4. 家族や職場など周囲の理解が得られない
5. 一緒にする仲間がいない
6. 必要な情報(内容、費用、場所等)が不足している
7. 人間関係がわずらわしい
8. 身体への負担が大きい
9. 世話を必要とする家族(小さい子どもや高齢者など)がいる
10. 必要性を感じない
11. 身近に指導者がいない
12. 何をしてもよいかわからない
13. その他(具体的に:)
14. 特に理由はない

2. あなたが今後行ってみたい生涯学習活動についてお聞きします。

現在、「生涯学習活動を行っている方」及び「行っていない方」全ての方にお伺いします。

問 11. 生涯学習活動として行ってみたいと思っていることはありますか
(〇はいくつでも)。

1. 地域活動・ボランティア・NPO活動に関すること
2. 文化・芸術・教養・趣味に関すること
3. スポーツ・レクリエーション・健康づくりに関すること
4. 仕事上の知識・技術・資格の取得に関すること
5. 社会的課題に関すること(高齢社会・環境・人権・まちづくりなど)
6. パソコン・インターネットなどに関すること
7. 子育て・教育に関すること
8. その他(具体的に:)
9. 特にない

問 12. どのような方法で生涯学習活動を行いたいですか (〇は3つまで)。

1. 本・雑誌・新聞
2. インターネット・携帯電話
3. テレビ・ラジオ
4. 通信教育・放送大学
5. 大学・専門学校の公開講座
6. 市や府の講座や講習会
7. 民間のカルチャースクール・スポーツクラブ
など
8. 仲間としているグループ・サークル・団体など
9. その他
(具体的に:)
10. 特にない

問 13. 生涯学習活動をする場合、学習や活動がしやすい時間帯はいつですか
(〇はいくつでも)。

1. 平日の午前
2. 平日の午後
3. 平日の夜間(午後6時以降)
4. 土曜日の午前
5. 土曜日の午後
6. 土曜日の夜間(午後6時以降)
7. 日曜・祝日の午前
8. 日曜・祝日の午後
9. 日曜・祝日の夜間(午後6時以降)
10. その他(具体的に:)
11. 活動したいが時間がとれない

問 14. 生涯学習活動をする場合、可能な場所はどこですか（○は1つだけ）。

1. 区内のみ
2. 堺市域内のみ
3. 大阪府内
4. その他（具体的に： _____ ）

問 15. 生涯学習情報をはじめ、普段、いろいろな情報の入手先は何ですか（○はいくつでも）。

1. 広報さかい
2. ポスター・チラシ・パンフレット
3. 回覧板・掲示板
4. テレビ・ラジオ
5. 新聞・雑誌・タウン情報誌
6. 友人・知人
7. インターネット・SNS(twitter、facebook、LINE、instagram 等)
8. その他(具体的に： _____)

3. 市の生涯学習施策についてお聞きします。

以下の設問も全ての方にお伺いします。

※ 堺市では、市民のみなさん一人ひとりがまちづくりの主演として、生涯学習の「学びの成果」を、主体的に地域や社会の課題を解決したり、地域づくりに活かしていただくために、みなさんの活動を支援していきたいと考えています。

そこで、各設問項目の市の施策についての満足度や学習の必要度をお答えください。

問 16. ご自身が生涯学習を行う上で、次にあげる項目はどれほど満足されていますか（それぞれについて○は1つ）。

	1 大いに 満足	2 満足	3 あまり 満足して いない	4 全く 満足して いない
1. 学習情報の提供・相談	1	2	3	4
2. 学習支援ボランティアの養成・支援	1	2	3	4
3. 大学・企業などと連携した学習機会の提供	1	2	3	4
4. 学習活動ができる環境	1	2	3	4
5. スポーツなどを通しての健康づくり	1	2	3	4

問 17. あなたのライフステージ*からみて、次にあげる生涯学習活動の支援にどれほど満足されていますか（それぞれについて○は1つ）。

*人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階。
 家族については新婚期・育児期・教育期・子独立期・老夫婦期などに分けられる。

	1 大いに 満足	2 満足	3 あまり 満足して いない	4 全く 満足して いない
1. 親のまなびへの支援	1	2	3	4
2. 子どもの成長を支えるまなびの支援	1	2	3	4
3. 若者の育ちの支援	1	2	3	4
4. 就労者や育児をおこなっている人の 支援	1	2	3	4
5. シニア世代の学習支援	1	2	3	4

問 18. 生涯学習活動を通して人びとの交流を広げるために、次にあげる項目について、どれほど満足されていますか（それぞれについて○は1つ）。

	1 大いに 満足	2 満足	3 あまり 満足して いない	4 全く 満足して いない
1. 今ある生涯学習施設の有効活用	1	2	3	4
2. 新たな学習の場の創出	1	2	3	4
3. 電子情報(ICT)を活用した学習の場	1	2	3	4
4. 地域における交流の場	1	2	3	4
5. 世代間の交流の場	1	2	3	4

問 19. 次の1～5の課題に対して、生涯学習で学ぶ必要性を感じますか（それぞれについて○は1つ）。

	1 大いに 必要	2 必要	3 あまり 必要ない	4 全く 必要ない
1. 平和と人権を尊重する意識の醸成	1	2	3	4
2. 安全・安心な生活のありかた	1	2	3	4
3. 堺の歴史文化や伝統産業	1	2	3	4
4. 持続可能な環境への取り組み	1	2	3	4
5. 各区の課題に応じた学習	1	2	3	4

4. あなた自身のことについてお聞きします。

アンケート結果の分析に必要ですので必ずお答えください。

アンケートの分析以外の目的には使用いたしません。

F 1. 性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

F 2. 平成 28 年 4 月 1 日現在の満年齢を数字でご記入ください。

 歳

F 3. どこにお住まいですか（○は1つだけ）。

1. 堺区 5. 南区
2. 中区 6. 北区
3. 東区 7. 美原区
4. 西区 8. その他(具体的に:)

F 4. 主な職業は何ですか（○は1つだけ）。

1. 自由業・自営業
2. 勤め人(フルタイム)
3. 勤め人(パートタイム、アルバイトなど)
4. 家事専業(主婦・主夫)
5. 学生
6. 無職
7. その他()

F 5. 現在お住まいの場所に何年間お住まいですか（○は1つだけ）。

1. 1年未満
2. 1年以上5年未満
3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満
5. 20年以上

F 6. いっしょにお住まいのご家族の構成は何ですか（○は1つだけ）。

1. 単身(一人暮らし)

2. 夫婦のみ

3. 二世帯世帯(親と子など)

4. 三世帯世帯(祖父母と親と子など)

5. 四世代世帯(祖父母と親と子と孫)

6. その他(具体的に: _____)

以下の(付問)にお答えください。

→ F 6で3～6を選ばれた方にお伺いします。

(F 6付問) いっしょにお住まいのご家族に未就学児(小学校へ入学していない乳幼児)はいらっしゃいますか(○は1つだけ)。

1. いる

2. いない

アンケート調査は以上になります。

～ ご協力ありがとうございました ～

アンケート調査の結果報告書は堺市ホームページへ掲載するとともに、市役所の市政情報センター及び各区の市政情報コーナーへ配架します。

記入もれがないか、ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、封をして、切手を貼らずに6月20日(月)までにポストにご投函ください。